

育成

モノづくり人材
Vol. 17

佐賀県立唐津工業高校

佐賀県立唐津工業高校は2014年に創立70周年を迎えた。モノづくりを通じた地域社会への貢献、部活動を通して心身を鍛えようと14年に起きた、ある快

いこう二つの「人づくり」が高校関係者の話



池田校長

【DATA】▷校長＝池田積氏▷所在地＝佐賀県唐津市▷学科構成＝機械科、電気科、土木科、建築科▷総定員＝480人▷主要設備＝マシニングセンター、太陽光発電装置、CADシステム、パワーシヨベル、トータルステーション▷主な進路＝トヨタ自動車、日産自動車、アイシン精機、九州電力、九電工、新日鉄住金、住友林業、佐賀大学、福岡工業大学など

1年生全員技能3級合格

を教育の柱に、将来の技術者を育てている。基礎となる国家資格の技能検定3級に1年生全員が合格したのだ。同じく認定され、大工や機械、電気、土木、建築の4学科を設けた。このうち97年に新設した建築科は工業高校には珍しく1学年40人中10人ほどが女子生

一方、地域連携にも活発に取り組む。唐津市相知町は江戸時代から残る農業用水に使う



唐津市相知町にある「町切水車」の取り付け作業を行う生徒

え、建築研究部の生徒数人が取り付けに携わった。また同市では毎年11月に九州を代表する祭りの一つ「唐津くんち」が開かれる。過去に消失した曳山を復旧するため、イメージの土台となる模型を製作した。

佐賀県内の高校では2年連続で定員割れすると学科の廃止が検討される。「地域連携で認知度を上げ、工業に進学したい子どもが増えればうれしい」と池田校長は期待する。

(西部・増重直樹) (金曜日に掲載)